

小林市(九州・沖縄ブロック)

【計画期間 平成28年4月～33年3月】

- ・平成18年に旧小林市と旧須木村が合併。平成22年に小林市と野尻町が合併し現在に至っている。
- ・南西部には霧島連山が、北部には九州山地の山岳が連なり、緑豊かな森林や高原が開け、清らかな溪流美を誇る河川とその流域には優良農地が広がり、ジオサイト(地質遺産)や温泉、湖沼などの個性的な地域資源を多数有している
- ・人口46,245人(平成27年国勢調査) 面積562.95km²

【中心市街地を巡る状況】

- 小林カルデラが陥没した小林盆地の中に位置しており、国や県の出先機関、金融機関、医療機関、商業施設等を集め、宮崎県西諸広域市町村圏の中心都市として機能している。
- 熊本県人吉・球磨地方の中心都市である「人吉市」と宮崎県第二の都市「都城市」を結ぶ国道221号線沿道に形成されていることから、鹿児島、熊本、福岡等の九州主要都市とを結ぶ交通の要所として発展してきたが、モータリゼーションの進展に伴い中心市街地の衰退がはじまる。
- 自動車等の移動手段を持たない高齢者等の買い物不便、いわゆる買い物難民への対応が急務である。

【中心市街地に関する指標の推移】

- 休日歩行者・自転車通行量
H23:929人 → H26:876人 (▲53人、▲5.7%)
- 中心市街地人口
H20:6,992人 → H26:6,913人 (▲79人、▲1.1%)

【目指す中心市街地像】

「ひと」「もの」「かね」「ちえ」地域資源を総動員した中心市街地活性化

■計画の目標

目標	指標	基準値	目標値
安定した雇用を創る	新規開業事業所数の増加	10事業者 (H26)	12事業者 (H32)
新しい人の流れを創る	休日歩行者・自転車通行量	876人/日 (H26)	1,842人/日 (H32)
快適に暮らせるまちを創る	居住人口	6,913人 (H26)	7,081人 (H32)

安定した雇用を創る

新しい人の流れを創る

快適に暮らせるまちを創る

【主要事業】

- ・江南跡地活用事業 商業施設整備
 - ・江南跡地周辺整備事業 宿泊施設整備事業
 - ・チャレンジショップ事業
- など

【主要事業】

- ・小林駅周辺整備事業
 - ・新市庁舎の建設・整備事業
 - ・「てなんど」シャトルバス事業
- など

【主要事業】

- ・江南跡地活用事業 ファミリー賃貸住宅整備
 - ・ファミリー世帯向け空き家改修助成
 - ・小林看護医療専門学校生支援事業
- など

